

# 行政報告

## 異常寒波のため 災害警戒対策室を設置

市議会三月定例会が三月一日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお知らせします。

### 除雪車の出動回数が増加



十二月は例年を大きく上回る降雪と真冬日が続いたことにより、除雪車両の出動回数、稼働時間も増加し、除雪委託料は例年の三・五倍に達しています。

一月以降も波状的な寒波に見舞われ、二月十三日までの降雪量は三百五十八・五センチに達し、最大積雪深は二月三日に七十五センチを記録しています。

二月中旬までの除雪車の一斉出動回数はすでに十九回を数え、この時点で除雪費は昨年度を上回り、大幅に予算額を超過しています。

今後、昨年のように二月・三月で全体の五〇%以上の除雪費を費やすような事態も予想されます。

が、予算の補正等で対処したいと考えています。

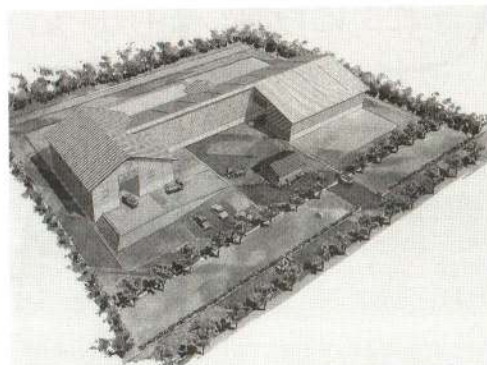
また、異常寒波による暴風雪等に対処するため、二月三日と十五日には、災害警戒対策室を設置して、小・中学生の下校時の安全確保や道路・水道・下水道等のライフラインの確保、高齢者世帯の安否の確認、災害避難場所の確保等を行いました。

今後大雪が考えられることから、市民の皆さんには、歩行や車の運転、屋根の積雪量などに注意していただきたいと思えます。

### リサイクル事業が いよいよスタート

今年四月から施行される「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」では、メーカーの責任で使用済みのテレビ、洗濯機、冷蔵庫、エアコンの四品目がリサイクルされることとなります。

大館市では、これら家電四品目がスムーズに回収・リサイクルされるよう、二月二十六日に関係者による連絡会議を開きました。また、このシステムについて一月二十九日から町内会長会議や二月十三日から地区別懇話会、さらには各町内会での出前講座等で、ごみの分別方法とともに市民の皆



大館市コンポストセンター完成予想図

さんに周知徹底を図ってきました。今後ごみの減量化とリサイクル促進のために、市民の皆さんのご協力をいただきながら取り組んでいきます。

公設では県内第一号の施設として、真中地区に建設している大館市コンポストセンターは、有機農産物、循環型農業システム構築のため、畜産廃棄物と事業系ごみにより、年間約一千百トンの有機たい肥を生産するものです。今年度、総事業費四億六千万円で工事に着手し、年度内に完成する予定です。四月から試運転をスタートさせて、七月からは、本格的に稼働させることにしています。

これにより、農薬や化学肥料を抑えた、新鮮で安全な農作物が生産されることを期待しています。